

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
会議名 (審議会等名)	令和5年度 第1回嬉野市の国民健康保険事業の運営に関する協議会		
開催日時	令和5年8月22日(火) 14:00~15:00		
開催場所	嬉野市役所塩田庁舎 3-1 会議室		
傍聴の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	犬尾委員、古河委員、坂口委員、池田委員、福田委員、石崎委員、栗山委員、中島委員、藤山委員、藤田委員、香田委員	
	事務局	市長、市民福祉部長、健康づくり課長 同課副課長、同課主査2名	
	その他		
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	第1回嬉野市の国民健康保険事業の運営に関する協議会資料		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
議 題	第1号 令和4年度嬉野市国民健康保険事業の状況（報告） 第2号 令和4年度嬉野市国民健康保険決算の状況（報告） 第3号 令和5年度嬉野市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導計画		
内 容			
審議経過	市長 市長 会長 事務局 会長 事務局	（委嘱状交付） 4月1日付け田中委員から中島委員に委員交代したことによるもの。 （市長あいさつ） （会長あいさつ） （会議成立の報告） （会議録署名委員の選任） 署名委員を保険医代表として石崎委員、被保険者代表を香田委員に選任してよいでしょうか。 ≪異議なし≫ 議題第1号「令和4年度嬉野市国民健康保険事業の状況について」（国保加入状況） 国保加入状況について平均世帯数は3,333世帯、平均被保険者数は5,295名です。加入率減の主な要因は、75歳到達による後期高齢者医療保険への加入があげられます。 （税率、減免及び収納状況について資料より説明） 令和4年度は県より示される当市の標準保険税率を参考に当協議会においてご審議していただき、税率の改定は行いませんでした。 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国民健康保険税の減免について、国が示した財政支援の基準に基づいて保険税減免措置を行ったものが6世帯で178万100円になります。	

審議経過	事務局	<p>令和4年度の収納率は95.60%で前年度と比べまして0.51ポイントの減少です。</p> <p>(医療費について)</p> <p>R2年度は新型コロナウイルスの影響により、受診を控える傾向がみられ、医療費は減少していますが、R3年度に関しては、R2年度の受診控えの反動により医療費は増加しています。R4年度はR3年度より約2100万円減少していますが、R2,R3年度の変動が大きかったため平準化されたのではないかと推察されます。</p> <p>(国保の保健事業)</p> <p>国保人間ドック・脳ドック事業について。今年度は若い方の受診が増加しています。検査結果を見ますと、受診者の多くが何らかの所見を有していましたので、この検診が健康への意識付けをする契機となり、疾病の早期発見につなげることができています。</p> <p>傷病手当金については、令和4年度の実績は34件、支給額81万4920円となっています。</p> <p>(特定健診事業)</p> <p>例年通り個別健診と集団健診、毎日健診を行っています。対象者は3,800人で、そのうち1,841名の方に受診していただき、受診率は7月31日時点の速報値で、46.4%です。令和3年度からはコロナの影響もあり低下しています。引き続き受診勧奨等行っていきたいと思います。</p> <p>特定健診の結果からは男性・女性どちらも「血糖異常」の方が多い結果となっています。佐賀県はこの「血糖異常」が全国ワースト1位ですので、嬉野市だけでなく県全体で糖尿病の重症化予防に力を入れて取り組んでいるところです。</p> <p>特定保健指導の対象者は158人で、そのうち特定保健指導を実施して最終評価まで終了した方の割合は68.6%です。</p>
	委員	<p>令和4年度の収納率が下がった理由を教えてください。</p>
	事務局	<p>令和4年度は、令和2年度3年度に比べてコロナ減免申請が減少し、調定額が下がらなかったことが1つの要因だと考えています。</p>
	事務局	<p>議題第2号「嬉野市国民健康保険決算の状況について」</p> <p>(歳入について)</p> <p>国民健康保険税の決算額は前年度より2,682万円程の減額です。団塊の世代の後期高齢者へ移行が始まったこともあり、国保税が減少しています。</p> <p>国庫支出金については、前年度より347万円程の減です。新型コロ</p>

審議経過	事務局	<p>ナウウイルス感染症の影響により給与収入が減少した世帯に対して保険税減免を行うことにより、国から特例的な財政支援を受けるものですが、令和4年度については、全額が県の特別交付金から交付されています。県支出金については、前年度と比較して2189万程の減です。</p> <p>(歳出について)</p> <p>保険給付費については、前年度と比較すると2650万程の減額となっています。令和4年度は前年度と比較して新型コロナの影響は大きくありませんでしたが、被保険者が後期高齢者へ移行していることもあり、医療費は減少しています。</p> <p>歳入合計の38億2439万1253円に対しまして、歳出合計では36億8330万3905円となりまして、『歳入・歳出差引額』収支が1億4108万7348円という決算になっております。</p> <p>(質疑なし)</p>
	事務局	<p>議題第3号「令和5年度嬉野市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導計画」</p> <p>特定健康診査は、今年度も6月1日から開始となっており、個別健診は8月31日まで、集団健診は全6回実施します。未受診者健診は、健診期間を2回設定する予定です。ヘルスサポート事業、情報提供、詳細健診、心電図検査についても昨年同様行います。</p> <p>受診勧奨についても、令和元年度から業者へ委託し実施している「未受診者勧奨事業」を継続します。対象者に合わせた個別通知を集団健診や未受診者健診前の計3回発送する予定です。</p> <p>次に、特定保健指導ですが、こちらも6月下旬から開始しており、一人でも多くの方にお会いできるよう案内を行っているところです。今年度も訪問に力を入れており、より対象者の生活状況がみえる自宅にて保健指導を実施したいと考えています。</p> <p>二次健診とアルブミン尿検査については、昨年から変更ありません。</p> <p>重症化予防訪問については、糖尿病性腎症、糖尿病や高血圧の未治療・治療中断者、重症化の危険性がある方などを対象に、保健師や管理栄養士が訪問等で保健指導を実施しています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したとはいえ、まだまだ感染症に気をつけながらの生活は続きます。今後も感染予防に努めながら適切に保健事業を進めていきたいと思っております。</p>
	委員	ヘルスサポート事業とはどのような事業ですか。
	事務局	こちらは病院に定期的に治療をされている方に対する事業です。通常

審議経過	事務局	<p>治療をされている方は「血液検査とか定期的に行っているからいいよ」と言われる方が多いですが、そういう方を取りこぼさないように医療の方で行う採血に健診の部分を追加し、そのデータをいただくような形で診療と同時に実施しています。受診者の健診費用は通常1,000円ですが0円にして医療機関の方に事業費を支払う事業になります。</p> <p>なので、受診と健診とどちらにも費用を払わなくていいように、1回の受診に合わせて健診も同時に実施するという形です。</p>
	委員	<p>かかりつけ医に言えばできるのですか。</p>
	事務局	<p>ヘルスサポート事業でできますかっていう形で問い合わせをさせていただいて、実施可能な病院さんでしたらそのような対応をさせていただいています。</p>
	事務局	<p>「今後のスケジュール」について事務局から説明。 (質疑なし)</p>
	委員	<p>その他質疑 国保だより等、国保の通知をみてもらう工夫をしてもらいたい。</p>
	事務局	<p>担当の方で広報に努めてまいりたいと思います。特に国保だよりは、制度改正等皆さんにご紹介をしなければいけませんので、何とか見てもらえるように、努めていきたいと思います。</p> <p>(閉会)</p>